

水野洋一議員



質問①

様似町で開催される、「かんらん岩に関する、国際的学術会議」について

問

正式に会議は決定したか。期日、正式会議名、規模、会場等概略について、質問いたします。

答

質問の「国際的学術会議」につきまして、本年8月25日（火）から8月28日（金）までの4日間、国際ワークショップが開催されることとなりました。その名称としまして「幌満マントル掘削及び炭素注入プロジェクト」略称として幌満DCとなっております。

国際陸上科学掘削計画（略

称ICDP）という組織のワークショップを様似町で開催するもので、広島大学・名古屋大学・フランスモンペリエ大学の教授が主体となり開催するものです。

ICDPとは、世界各地の陸域を掘削して地下から得られる様々な情報を研究することで、地球環境変動の歴史を知り、地下の活動的プロセスをとらえるための科学テーマに挑戦する国際共同研究プロジェクトです。

答

広島大学・名古屋大学・フランスモンペリエ大学の教授が主体となり、このICDPと言う組織に、幌満カンラン岩体を掘削し、二酸化炭素の液体の流入の地中処分実験についての掘削提案が、採択され、次のステージである2次審査としてワークショップを開く分として、このICDPから予算がついたので、このワークショップを様似町で開催したい旨の相談を受けたものです。

相談を受けた際に伺って

問

当町には、どのような協力、要望があるか、質問いたします。

答

相談の際は、宿泊、講演会、ポスターセッション、食事等をアポイ山荘で完結させたいとの要望があり、当課への相談後、すぐにアポイ山荘の方へ一緒に伺い、宿泊の仮予約などをさせていただいております。当町としても、この機会に、町民向けの何かを出来ないかお願いし、「講演会などを実施してくれる」とのお話を伺っているところであり、中央公民館を会場として何かしていただけないか、これから相談していくところで

問

ジオパーク ビジターセンターの説明文・英語表記の必要性、さらにセンター前の「手塚信吉氏」の説明版の必要性について、質問いたします。

答

現在、ビジターセンターの内部の展示にある説明文については、日本語で記載し、英語での説明文も付記しております。

また、ビジターセンター内では地球科学ゾーンで、かんらん岩の説明がされていますが、そのほか、「自然と人々との関わりエリア」の中の産業の中で、「かんらん岩と運命の出会い」ということで、パネルにて紹介しております。

ご質問にもありますとおり、昭和初期に幌満峡で水力発電事業を興した手塚信吉氏に触れられており、発電所地下トンネルを掘削する際、工事を難航させる固い岩盤と出会い、耐火性に着目し、新会社を設立して「オリビンサン



▲ 過去に開催された国際会議

明賀孝子議員



質問①

収入未収額について

問

近年、監査委員からも指摘があるように、収入未収額は、令和5年度（町税含む）約8700万円、令和6年度（同右）約8400万円、財政指標である経常収支比率においては、令和5年度86・3%令和6年度84・1%で、今年度予算は、約90%近くとなり、この数値は財政硬直化の警戒水準と言われます。

答

町政の最高経営責任者は町長であります。未収金は町財政の根幹の部分であり、まずは決まっているものをきっちり納めてもらう、収入として獲得する事が大前提です。

徴収対策のマネージメント不全是、歳入全般の確保による財政健全化と町民負担の公平性の確保であると受け止めています。実際には、滞納債権者の死亡や行方不明、事業所の倒産、廃業等の事象も含まれています。100%完納には至りませんが、令和6年度の決算で、前年度比約300万円減で徴収体制不備によって実収入にはつながっていないことをご理解頂きた

答

第10次計画中には最大93%まで高まる見通しで、現状は

問

③ 具体策は過去の委員会資料等で示されているが、改善計画の形骸化と化している。今後3年間で何%改善を目指すのか明確な具体案をお示しください。

答

未収金滞納の要因として、①初期対応着手の遅れ、②実態調査の遅れ、③財産差押えの回避支援、④人や専門性不足、⑤各部門の連携不足等があげられます。

毎年度の決算報告の際に町税等収納取組状況を提出しています。対策として新規滞納の抑制、現年度課税分徴収強化、早期納付の勧奨や催告を行います。財産調査の実施や保証人への通知など滞納整備機構への引継ぎをし滞納額の圧縮を図っているところであります。

【荒木町長】財政に関して数字的には、大変厳しいと思っています。

滞納徴収では、職員も努力しているが、人間関係などしっかりとつた中で借金を残

質問②

様似町合葬墓について

問

昨今、話題にもなっている終活ですが、自分達のお墓をどうするか。所謂、墓じまいに注目が集まっています。ここ様似でも何名かの町民の方から、この質問を受けています。合葬墓は単なる墓地整備ではなく、住民の終活支援、無縁墓対策、福祉、移住支援の一環であると考えます。

答

令和8年度に管内施設等視察し、具体的な計画づくりをして令和9年度予算に盛り込み実現させたいと考えています。

問

② 令和9年度の予算にむけて計画を進めて行く事は可能なのでしょうか。具体的にお聞きします。

① 第9次計画の中にも盛り込まれていますが、単年計画の予算には上がっていません。

具体的計画、昨春秋に行った町民へのアンケート結果も踏まえてお尋ねします。

アンケート結果については昨年10月から月に町内の40歳以上の世帯を中心に無作為500世帯を抽出し、回答率は57・7%、286件で、お



（▶イメージ図）